

令和3年度 第2回尾張東部教科用図書採択地区協議会 議事録

- 日 時 令和3年7月6日(火) 14:00
- 場 所 春日井市総合福祉センター 大ホール
- 出席者 協議会委員 34名、研究部長 1名 (欠席1名)

1 開 会

- 開会宣言

2 会長あいさつ

- 尾張東部教科用図書採択地区協議会会長よりあいさつ
 - ・ 本日の会議は、教科書採択の公正確保のため、非公開で行うことを確認する。
 - ・ ここに至るまでの経過を報告。今年度は第1回協議会及び研究員に打合せは書面開催を行った。研究員が教科用図書について研究を行った。
 - ・ 本日、その研究成果を報告するとともに、委員の協議により、本地区の子どもたちにとって一番ふさわしい教科用図書を選定していきたい。

3 協議方法について

- 選定の方法
 - ・ 協議会の会議において、委員全員の一致によって決まる。
- 資料の確認
 - ・ 愛知県令和4年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準
 - ・ 尾張東部教科用図書採択地区協議会選定資料
- 協議進行の手順
 - ・ 研究部長より、選定資料をもとに各教科用図書の説明
 - ・ 研究部長に質疑
 - ・ 研究部長退席後に、協議・選定

4 教科部長報告及び質疑、協議

- 中学校社会の報告
 - ・ 歴史的分野につきましては、新たに1社が検定に合格したことを受け、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社の7社の教科書について研究した。学び舎については見本本の送付が無かったので、研究できず。そこで、7社について研究し、学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等について報告する。
- 中学校社会の質疑
 - ・ 深い学びに関わって「見方・考え方」を働かせる工夫がされているか。

- 各社「見方・考え方」を働かせる工夫がされている。特に、東京書籍は「見方・考え方」を捉え、捉えた「見方・考え方」を働かせる場面をマークやコーナーで示すなどして、単元の学習を通して「見方・考え方を働かせた課題解決的な学習」（＝深い学び）が実現できるよう工夫されている。
 - ・ 各教科書は、生徒が学習しやすい配慮がされているか。
 - 各社ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを意識して作られている。その中でも東京書籍は、学習上必須ではないキャラクターのイラストなどを一部ページのみに限定することで学習内容に集中しやすくなっている。また、図版など資料の部分と本文の部分が色分けされており、一目で分かりやすい工夫がされている。東京書籍は、不要な陰影や立体感のあるデザインを無くし、学習内容に集中できるフラットデザインが採用されている。
 - ・ ICTの有効活用について、どんな手立てが図られているか。
 - 各社工夫が見られるが、特に東京書籍は、3分野ともに「Dマークコンテンツ」が表示されていてインターネットを活用した学習の便宜が図られている。学習に役立つリンクや実際場面のシミュレーションは生徒の学習意欲を喚起し、新学習指導要領にある「学びに向かう力」の育成につながると考える。
- 中学校社会の協議
- ・ 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりして学習を進めていくため、教育出版は、見開き毎に学習課題が提示されていて、「確認」「表現」でまとめる構成になっている。「歴史の技」が随所に配置され、技能を身につけるよう意図されており、資料や図版が豊富で目を引きやすいが、一部内容が詳細すぎて分かりにくいものもある。その点、東京書籍は、ユニバーサルデザインを意識した編集がされており、学習内容に集中しやすいように工夫されていて見やすい。また、「問いの構造図」の流れが、生徒の学習過程において効果的に作用している点が評価できる。
 - ・ どの会社も主体的に社会に参画する態度を養おうという工夫がされている。教育出版は、今日的な課題や今の生活につながる話題が多く取り上げられており、生徒の興味・関心を喚起しやすい。ただ、各単元のまとめ活動が少ないため、もう少し多いとよい。東京書籍は、各単元のまとめの際に、様々な活動方法が例示されており、歴史学習を通して多面的・多角的な見方・考え方を育成する配慮がされている点が高く評価できる。また、小学校の学習内容や、中学校の他分野・他教科との関連性を意識させやすく構成している。
 - ・ あいちの教育ビジョンにあるように、SDGsの考えに基づき各社とも十分に対応しているが、東京書籍は、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるよう配慮されている。また、既習事項を確認する「基礎基本のまとめ」や思考ツールを活用して考察する「まとめの活動」を設け、補充的・発展的な学習に対応している東京書籍は、ふさわしい教科書だと言える。他の会社もそれぞれ良さはあるが、歴史的分野の教科用図書は東京書籍を選定してはどうか。
 - ・ 協議の結果、全員一致で、「東京書籍株式会社」のものを選定する教科書として決定。

5 連絡、依頼事項

- 採択協議会事務局のローテーションについて
- 資料の取り扱いなどに関する連絡

6 閉 会

- 閉会宣言